

SDK活用ユーザ環境における TSA証明書の移行について

2024年5月吉日

【重要】

本対応は、2024年5月20日午前6:00以降に実施ください。

セイコーソリューションズ株式会社

本資料は、以下のご案内文書に対する、
SDK活用ユーザについての後続アナウンス（第四報）となります。

「【重要】 Seiko Trust タイムスタンプTSA証明書の移行につきまして（第一報）」

「Seiko Trust タイムスタンプサービス」でのTSA証明書の移行に際し、Seiko Trust タイムスタンプを使用しているSDK活用ユーザ環境についての必要な対応についてご案内致します。

【重要】

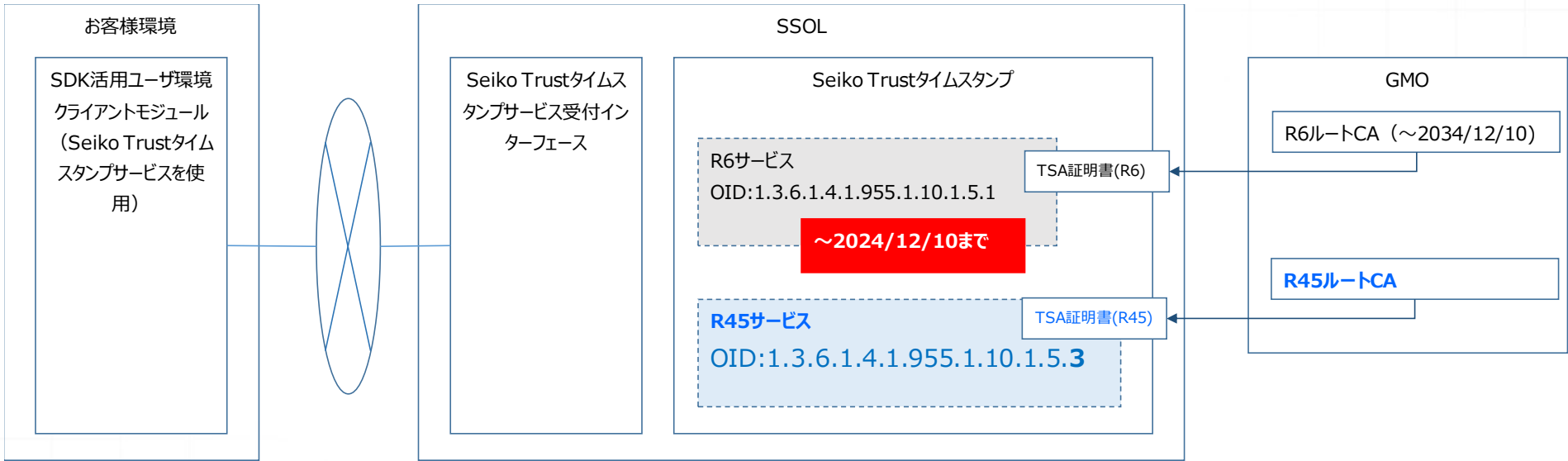
本対応は、2024年5月20日午前6:00以降に実施ください。

概要

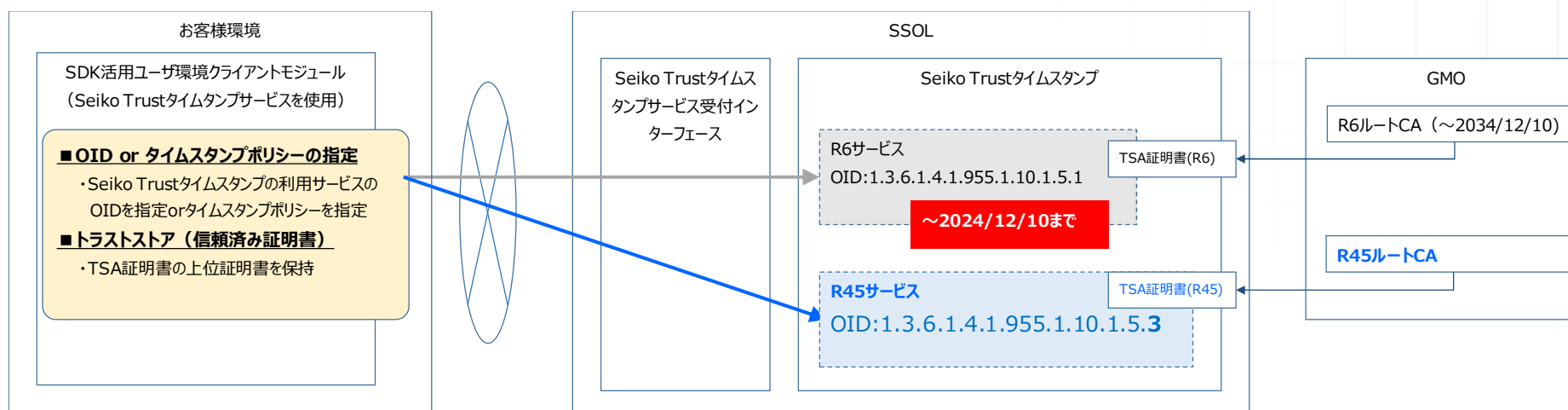
Seiko Trust タイムスタンプサービスを使用しているSDK活用ユーザは、**2024年11月末日までに、Seiko Trust タイムスタンプのR6サービスからR45サービスへの切替対応が必要**となります。

Seiko Trust タイムスタンプでは長期間（10年以上）のタイムスタンプトークン検証を可能とするため、ルートCAの変更を実施しております。

- R6ルートCAから発行されるTSA証明書を利用したサービス（以降R6サービス）を2024年12月以前に廃止
- R45ルートCAから発行されるTSA証明書を利用したサービス（以降R45サービス）を提供（2023年11月開始済）



SDK活用ユーザ環境では、お客様環境に導入されているクライアントモジュール（Seiko Trustタイムスタンプサービスを使用するためのクライアントモジュール）にて、接続するSeiko TrustタイムスタンプのOIDの指定もしくはタイムスタンプポリシーの指定、および、TSA証明書の上位証明書による検証を行っているものと捉えております。



■ SDK活用ユーザ環境については以下2点の対応が必要となります。

(1) OID指定の変更もしくはタイムスタンプポリシー指定の変更

クライアントモジュールにて、接続するSeiko TrustタイムスタンプのOID（Req policy等として指定）もしくはタイムスタンプポリシーを指定しているものと捉えておりますので、このOID指定もしくはタイムスタンプポリシー指定をR45サービスのOIDもしくはタイムスタンプポリシーに変更する必要があります。

※OIDもしくはタイムスタンプポリシーの設定変更作業をお客様にて実施ください。⇒次ページの※1を参照

(2) TSA証明書（R45）の上位証明書をトラストストアへ追加登録

クライアントモジュールのトラストストア（信頼済み証明書）へTSA証明書の検証のためにTSA証明書の上位証明書を保持しているものと捉えておりますので、このトラストストアへTSA証明書（R45）の上位証明書を追加登録する必要があります。

※トラストストアへの証明書登録作業をお客様にて実施ください。⇒次ページの※2を参照

※1・・・Seiko Trustタイムスタンプの各サービスは、一意のOID/タイムスタンプポリシーにて識別されます。

サービス	タイムスタンプポリシー	OID
R6サービス	Accredited TypeA2	1.3.6.1.4.1.955.1.10.1.5.1
R45サービス	Accredited TypeA3	1.3.6.1.4.1.955.1.10.1.5.3

※2・・・TSA証明書（R45）の上位証明書は以下からダウンロードすることが出来ます。

- ・ルート証明書（R45）・・・「<https://jp.globalsign.com/support/rootcertificates/others.html#tsa06>」より、「タイムスタンプ(TSA)証明書 R45 AATL用」の「ルート証明書」をダウンロード
- ・中間CA証明書（R45）・・・「<https://jp.globalsign.com/support/rootcertificates/others.html#tsa06>」より、「タイムスタンプ(TSA)証明書 R45 AATL用」の「中間CA証明書」をダウンロード

【重要】

本対応は、2024年5月20日午前6:00以降に実施ください。

SEIKO

セイコーソリューションズ株式会社